

# 【協働社会構築戦略】

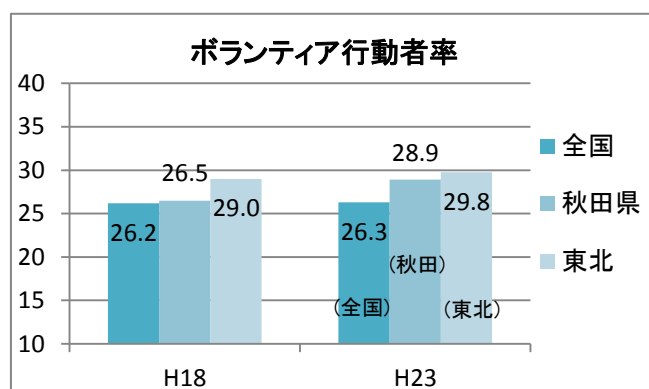
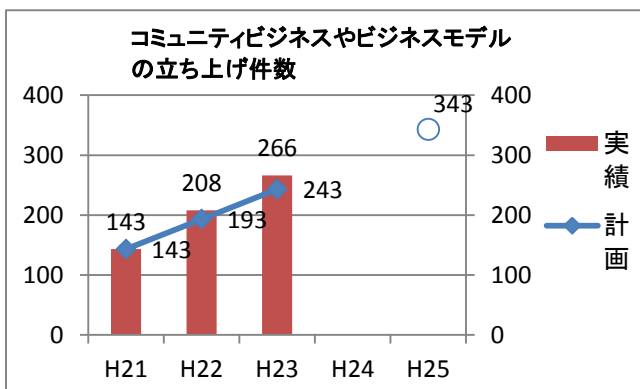
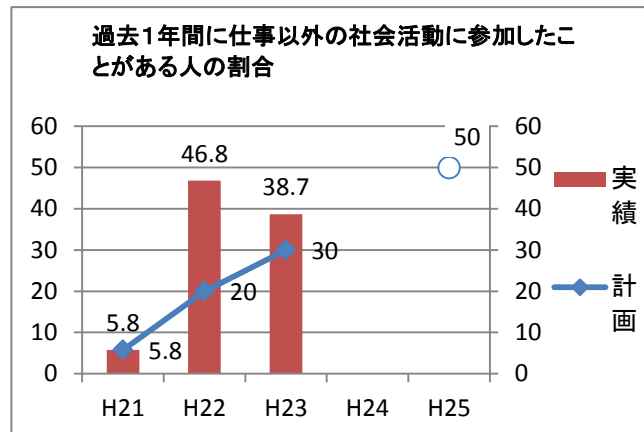
## ●戦略の目標

◆過去1年間に仕事以外の社会活動や地域活動(NPO活動、ボランティア活動、自治会活動)などに参加したことがある人の割合  
(単位:%)

	基準値(H21)	H22	H23	H24	H25
目標値	5.8	20.0	30.0	40.0	50.0
実績値		46.8	38.7	—	—

◆ビジネス的な手法を取り入れて地域の課題解決や活力向上を図るコミュニティビジネスやビジネスモデルの立ち上げ件数  
(単位:件)

	基準値(H21)	H22	H23	H24	H25
目標値	143	193	243	293	343
実績値		208	266	—	—



## 戦略の達成度に関する分析

### ○現状

本県の「過去1年間に仕事以外の社会活動に参加したことがある人の割合」は、平成22年度に大きく増加(41.0%)したが平成23年は8.1%減少。

また、「コミュニティビジネスやビジネスモデルの立ち上げ件数」は、基準年(H21)より順調に増加しており、平成23年は前年より58件増加。

政府統計のボランティア行動者率によると、本県は平成18年度に比較し2.4%上昇し28.9%、全国は0.1%上昇、東北では0.8%上昇。

### ○増減の要因

全国的にNPOを主体とした協働社会の構築の推進により、ボランティア行動者率が増加している。

本県においても、東日本大震災を契機にボランティア活動への関心が高まり、被災地や県内に避難した被災者を支援する方々が増加したこと等によるものと判断される。

### ○本県の今後の見込み

ボランティア活動への参加促進については、ネット等を活用した情報の受発信を進めるとともに、イベント等を通じたPRを実施するほか、コミュニティビジネスの立ち上げについては、高齢者集落等の地域づくりや、継続的なコミュニティビジネスを推進することから、平成25年度には目標は達成できると考えている。